

# 南海トラフ地震臨時情報への対応に関する学際プロジェクト 成果報告会

東北大学災害科学国際研究所では、南海トラフ地震臨時情報が発表された際に社会が実効的に対応し、災害軽減につなげられるための学際的研究プロジェクトを2019年1月よりセコム科学技術振興財団の助成を受けて進めてきました。本報告会では、南海トラフ地震臨時情報や不確実性を含む災害リスクにご関心をお持ちの一般・研究者・メディアの方、これまでの研究協力者・機関の皆さまに最終研究成果を共有し、議論を行います。

日時：2022年3月15日（火）13：30～16：30  
開催形態：オンライン

前半(13:30～14:50)

1. 開会挨拶・主旨説明
2. 南海トラフ半割れ・一部割れ地震発生後の後発地震発生確率（現象評価研究班 福島洋）
3. 半割れ地震後の後発地震による津波リスクマップ開発（現象評価研究班 福島洋）
4. 南海トラフ「半割れ」時の企業・組織の推奨対応レシピ（対応行動体系化班 丸谷浩明）
5. 組織の行動をとりまく社会・住民の状況（社会影響研究班 奥村誠）

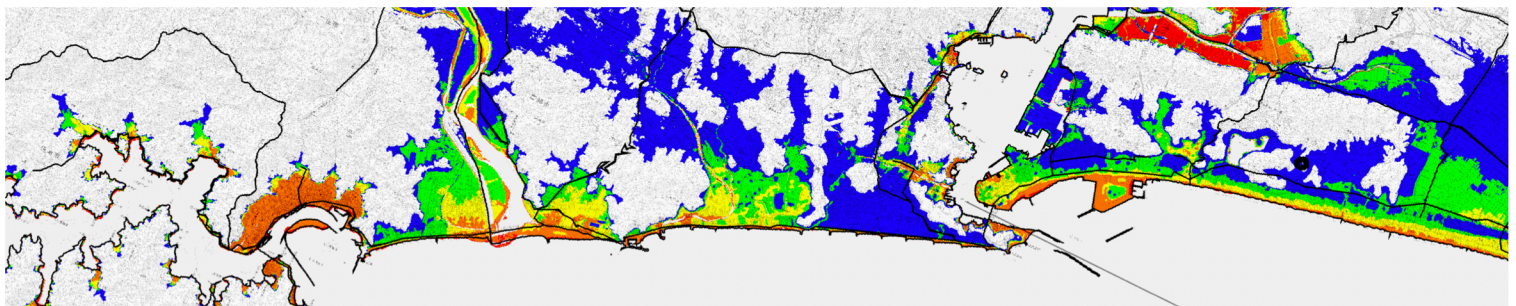
後半(15:00～16:30)

6. 南海トラフ臨時情報に関する住民の認識（社会影響研究班 杉浦元亮）
7. 一般市民が臨時情報へよりよく対応するために（社会影響研究班 中鉢奈津子）
8. パネルディスカッション

司会：今村文彦（東北大学災害科学国際研究所所長）

パネリスト：江渕誠（高知県危機管理部 副部長）・福島洋・丸谷浩明・奥村誠

9. 閉会



## お申し込み・問い合わせ先

プロジェクト代表・東北大学災害科学国際研究所 准教授 福島洋

022-752-2069 / fukushima(at)irides.tohoku.ac.jp

申し込みフォーム：<https://forms.gle/iK3Z5crL1ByQhVSZ8>